指導事例集ｐ．９９

児童に見られるつまずき

　比較量、基準量、割合の関係を理解することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　２数直線図を用いて、問題場面の比べる量ともとにする量を整理することで、比較量、基準量、割合の関係について理解を深めさせる

１　学年・単元名　　第５学年　割合（数量関係領域）

２　単元目標

　　２数直線を使いながら問題場面を整理し、比べる量ともとにする量の関係を理解することができる。

３　単元の内容

　・割合の意味　　　　　・比べる量を求めること　　　　・もとにする量を求めること

　**・百分率、歩合の意味**　・割合のグラフ

４　本時の目標

　　２数直線図を用い、割合を表す小数と％の関係を理解させる。

参考：板書

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導上の留意点**太字：つまずきに対する手立て** |
| 導入展開玉ねぎ畑10学校の畑40（㎡）００　　0.25　　　　　　 １　　 （倍）０　　 □　　　　　　 １００　　 （％）まとめ | １　問題文を読み、題意をとらえる。玉ねぎ畑10学校の畑40（㎡）００　　　 0.25　　　　 　　　 １　　 （倍） □　　　　　　　　　　　　 　100　 　（％）　　玉ねぎ畑10学校の畑40（㎡）００　　　 0.25　　　　 　　　 １　　 （倍） □　　　　　　　　　　　　 　100　 　（％）　　玉ねぎ畑の面積１０㎡は、学校の畑の面積４０㎡の何％ですか。２　２数直線図を使いながら問題場面を整理する。玉ねぎ畑10学校の畑40（㎡）００　 　□　　　　　　 １　　 （倍）参考：ノート３　割合を表す小数と％を２数直線図上に表し、自力解決を試みる。３　それぞれの考えをペアの人と話し合う。４　全体で発表し合う。参考：授業の様子 | **・問題文を読み、２数直線図上に㎡と倍の関係をかかせることによって、相互関係を理解させる。**・「答えが１よりも小さくなる」という見通しを持たせる。・もとにする量（１倍）が１００％であることをもとに、倍を％に直すには１００倍すればよいことに気付かせる。**・２数直線図で㎡と倍の相互関係を確認させながら、０．２５×１００で小数点が右に２つ移動し、２５％となることを確認する。**・割合の数直線に「倍」と「％」を並べて表記することで、もとにする量＝１倍＝１００％を基本にして、小数と百分率の関係を理解させる。〇説明がうまくできなくても、情報交換ができればよい。〇拡大書画カメラを使って発表させる。 |